

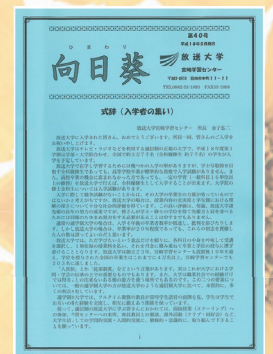
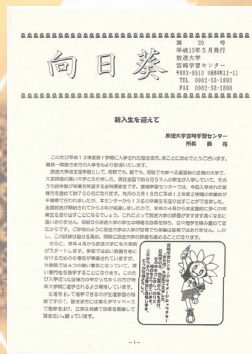
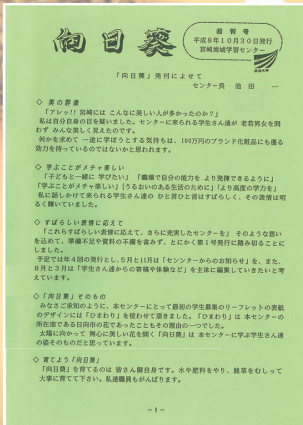
ひまわり

機関紙「向日葵」

100号記念特集

- 宮崎学習センター機関紙「向日葵」は、平成8年10月に創刊号が発行され25年。このたび、100号を発行する運びとなりました。太陽に向かって無心に花を咲かせる「向日葵」が宮崎学習センターで学ぶ学生そのもの、だと初の池田所長が命名。宮崎学習センターの所在地である日向市の花でもあります。
- B5サイズだった機関紙が A4 サイズになり、現在では、PDFファイルになって学習センターホームページで公開されています。紙面もイラストから写真が多くなりました。

表紙ギャラリー



創刊号
平成8年10月30日発行
初代池田一所長の創刊にあたってのメッセージが表紙。B5サイズ。当時は宮崎地域学習センターでした。

第10号
平成10年11月発行
選科履修生であった花岡理英子氏の国際協力事業団（JICA）派遣中の死去を偲ぶ

第20号
平成13年5月発行
第2代西亮所長時代宮崎学習センターイメージキャラクター「まな坊」が誕生

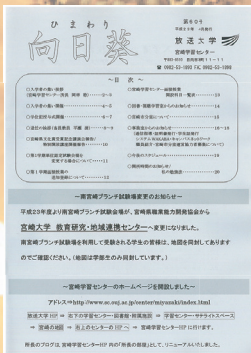


第30号
平成15年10月発行
開所当時より13年間もの長きにわたり、客員教員を務められた平瀬清先生のメッセージ

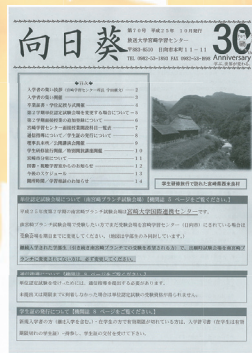
第40号
平成18年5月発行
第3代金子弘二所長の入学者へ向けた式辞。当時の放送大学の学生数は3万7千人。



第50号
平成20年11月発行
第4代田村智敦所長時代。まな坊と紅葉・秋の虫などが印象的な表紙。紙面も充実してきました。



第60号
平成23年4月発行
第5代岡林稔所長時代。この頃、宮崎学習センターホームページが開設されました。



第70号
平成25年10月発行
第6代宇田廣文所長時代。放送大学が30周年を迎える年でした。研修旅行では西米良村を訪問。



第80号
平成28年4月発行
出会いと別れの季節。退職される客員教員の先生方、職員のメッセージが紙面を飾っています。



第90号
平成30年10月発行
第7代村岡嗣文所長時代。この時は卒業証書学位記授与式並びに入学者の集いは台風接近で延期。

機関紙「向日葵」の役目

放送大学宮崎学習センター 所長 松下 洋一

放送大学宮崎学習センターの平成8年10月の発足以来、年4回定期的にかつ途切れることなく学生の皆様にお送りしてきた機関紙「向日葵」が、記念すべき100号を迎えました。機関紙は、放送大学からの学修情報をお伝えするだけでなく、学生交流の場として皆様からの意見や感想を載せさせていただいてきました。必ずお伝えすべき情報は変わらず掲載しながらも、紙面内容は少しずつ改良を重ねて参りました。役立つセンター情報誌となっていましたら幸いです。



この25年の歳月の間に、インターネットでの情報伝達や意見交換の手段が広く普及するようになりました。しかし、当センターにとって、機関紙は紙面を通じて皆様に直接かつ確実に各種情報をお伝えできる手段であり、今でも最も大事なコミュニケーションツールであります。

当センターでは「まごころのこもった笑顔で親切に」をモットーに、学生の皆様をサポートさせていただいています。これからも、機関紙「向日葵」を継続して発行するとともに、センターのホームページもさらに充実させ、十分な情報発信に取り組むつもりです。機関紙の内容を含め、当センターへのご意見やご要望を是非お寄せください。ご意見・要望はさらに充実したサポートが行えるように、業務改善に活かします。何卒よろしくお願い致します。

昨年からの新型コロナ禍の影響で日常生活での厳しい制限が続く中ですが、増えた在宅時間を放送授業での学習時間へとプラスに変えて、どうぞ有意義な毎日をお過ごしください。



機関紙「向日葵」第100号発刊に寄せて

日向市長 十屋 幸平

放送大学宮崎学習センター機関紙「向日葵」の記念すべき第100号の発行を心からお喜び申し上げます。

この「向日葵」を通して住民へ発信される情報は有益な学習情報にとどまらず、時に載せられる先生方の温かいメッセージなどは、忙しい日常の中で懸命に学ばれている学生の皆さんの大きな励みとなっているのではないのでしょうか。これまで携わられてきた方々の努力と愛に心から拍手を送りたいと思います。



ところで、今年は、本市においてもいくつか節目を迎える年になります。まず、本市の陸の玄関口・日向市駅が、その前身・富高駅の開業から数えてちょうど100周年。そして、昭和26年の市制施行から70周年にあたります。また、高等教育機関のなかった本市において、平成8年に貴センターが開設されてから25周年を迎えられることも忘れてはならない素晴らしい出来事の一つです。

今後も住民の「学びたい」という学習ニーズに応えていただきながら、末永く生涯学習活動の推進にご尽力賜りたいと願っています。With コロナで加速するデジタル化と学びへのニーズが相まって放送大学宮崎学習センターが更なる発展を遂げられ、機関紙「向日葵」が今後も発刊号数を積み重ねられますことをご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。





学生間を繋ぐ機関紙「向日葵」

日向市放送大学宮崎学習センター振興協議会会長 後藤 大成

放送大学宮崎学習センター機関誌「向日葵」が平成8年の創刊以来、100号を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

「いつでも どこでも だれでも自由にまなべる」放送大学は放送とオンラインの遠隔手段によって教育を行っています。その建学精神は、大変素晴らしいものがあり、全国では9万人の学生が、それぞれの目的を持って学んでいます。ただ、放送授業がメインであるだけに、学生間の情報交換等が希薄では、とも云われています。そこで、各学習センターでは、いろいろな工夫をされて、学生間の交流活動や情報交換の場を計画・実践されています。(ただ、現在のコロナ禍では、放送大学の学習システムが、大いに賞賛され、多くの大学でこのシステムを取り入れているのが現状です。)

現在、宮崎学習センターでは750名の学生がそれぞれの目的を持って学んでいます。宮崎学習センターの機関誌「向日葵」では、これらの学生への情報交換・提供として、面接授業の空席情報、諸学生の学習体験発表、公開講演会や学生研修旅行案内、時には試験会場の変更等、きめ細かな、暖かな、親しみやすい雰囲気をもって、発刊され記念すべき100号発刊となりました。

今後も、この機関誌「向日葵」が、学生さんたちへ一層の情報提供していただけるようご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。



－向日葵100号に寄せて－

宮崎学友同窓会ひまわり代表世話人 柴田 俊一

宮崎学習センター機関紙「向日葵」が100号の発行を迎えられること、お慶び申し上げます。

昨年の2月から武漢発の新型コロナウイルスにわが国も巻き込まれ、非日常の生活を強いられています。皆さんの生活は変わりましたか。学友同窓会の行事もほとんどできなくなりました。学友同窓会の主な仕事は「会員相互の親睦を図り、併せて宮崎学習センターの発展、並びに生涯学習・地域教育の振興に資することを目的とする」と会則に書いてあります。放送大学の学びは主に、人に会わずにインターネットを使い自ら勉強するスタイルです。主にテレワークの学びです。しかし面接授業は別です。私は試験を自宅ですることになりモチベーションが上がらず大変でした。放送大学で15年間学んでいますが、学びについていろいろ考えるきっかけになりました。「禍を転じて福と為す。」いつも時間に追われる生活なのでこんな時間があって良かったと思っています。

センターの機関紙、向日葵は学生とセンター及び本部とを繋ぐ大切な情報誌です。なかなかセンターに来られない学生へも、放送大学の近況を教えてください。私達をつなぐ大切なツールで、年4回発行の25年間続いている大切な情報誌です。これからも「向日葵」がセンター、本部、学生を結ぶ機関紙として、さらなる号を積み重ねることを祈念して、私のお祝いの言葉とします。



名誉学生からのメッセージ

名誉学生とは？

教養学部全コース（または専攻）を終えた全科履修生の方で、人物、学習態度が良好である方に対して、放送大学名誉学生の称号をお贈りし、表彰状および副賞の授与を行っています。

宮崎学習センター所属の学生の中で唯一の名誉学生である倉元正さんは、2017年度第2学期に名誉学生の称号を付与されました。1996年度第2学期（宮崎学習センターでの学生受け入れ開始時）から在学され、現在も選科履修生として学び続けられています。

『向日葵100号に寄せて』

倉元 正

地元の図書館で手にした1枚のパンフレット、それは秋から日向市に開学する放送大学を紹介するものでした。1996年のことです。あれから25年、一期生として入学し、現在は選科生として在学しています。当時はすべてが日向市の学習センターまで足を運ばないと何も動かない時代だったので、機関紙「向日葵」はとても重要な情報源でした。情報量はさほど多くなかったと思うのですが、他の学習センターのものと比べると、とても親切な内容で学生想いの機関紙だった記憶があります。

私の仕事はみかん作りです。他の作物と比べると時間の自由度が高いのが何よりです。卒業までは、地元の図書館に通うように日向まで車を走らせていました。長い道のりは気分転換には十分すぎる時間でした。

1枚のパンフレットが導いた放送大学では、興味のある科目を手当たり次第履修しました。当然ながら消化不良でしたが、広く、浅く、そして時に深くという重要な結論を得ました。自分が夢中になれるものを深く得るためには、とにかく挑戦してみることです。

放送大学ではだれでも大学生である喜びを感じることができます。そしてここでは自分なりに勉強を遊ぶことができます。実は学ぶことは終わりのない快樂の追求なのかもしれません。「向日葵」はずいぶん進化しました。学友同窓会の活動についても紙上で多くを目にします。これからも学生に寄りそった機関紙として充実することを願っています。

放送大学宮崎学習センターは2021年で開設25周年を迎えます！

宮崎学習センターのあゆみ



1996（平成8）年9月
宮崎地域学習センター開所式



1998（平成10）年4月
宮崎学習センターへ名称変更



2006（平成18）年
開設10周年記念式典



2016（平成28）年
開設20周年記念式典

学生の皆様にご協力を頂きながら、これまで発行して参りました。ここに厚く御礼申し上げます。今後も職員一同、「私たちはまごころのこもった笑顔で親切に対応します」をモットーに、学生の皆様の学習の一助となるべく、関係各位のご支援・ご協力を仰ぎながら努力してまいります。

これからも宮崎学習センターをよろしくお願いします！！

